

20周年記念誌

黎明

平成15年 4 月



埼玉県板金工業組合 青年部

目次

青年部長ご挨拶	1
祝辞	2
歴代青年部長	6
青年部 この10年の活動	7
青年部 昨日・今日・明日	
歴代部長座談会	14
青年部プレイバック10	16
現役青年部長経験者座談会	18
アクセス版 青年部会員名簿	21
青年部組織図	26
協賛会社一覧	27
編集後記	28

埼玉県板金工業組合青年部 創立20周年にあたって



埼玉県板金工業組合青年部

部長 新井 勇司

埼玉県板金工業組合青年部の創立20周年にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。昭和58年に創立以来20年を迎える事が出来ましたのも親組合の皆様をはじめ、関係各位の御支援御指導の賜物と厚く御礼申し上げます。そして何よりも歴代青年部員の方々の御努力に深く感謝する次第でございます。

初代部長・河野俊尚氏、2代・加藤英雄氏。そして、前回10周年時の3代・大島伸夫氏より託された魂は、4代・野口育男君、5代・戸井田章君、6代・神田敬文君に受け継がれて今日に至っています。

親組合現理事長の河野氏を始め、副理事長として平野氏・大島氏。さらに執行部役員として多くの青年部OBの皆様が組合運営に携わり、活躍をされております。

当青年部は創立当初から毎月一回。夜に例会と称して、経営や税金などに関して講師の先生を招いての勉強会や、板金技術向上の為の技術講習会。そして、納涼会などの懇親会で親睦を深め、仲間づくりの場として活発な活動を続けています。

この10年の活動の中で最も変化した事。それは、野口部長時代にメンバーをグループに分けて委員会を組織し、例会をそれぞれの委員会が設営するという体制にした事でしょう。トップダウンではなく、メンバー個々の自主性と意見を反映させる事により、意識の変化と共に活動が活発になりました。私はこんな形がこの組織のあるべき姿であると信じています。相手を思う気持ちを持って、目標に向かって協力して進む。それはみんなの為であり、自分の為でもあるという意識。そして、みんなで青年部を盛り上げて、埼玉県板のために、この板金業界のために頑張りたいとメンバー全員が考えています。

これからも皆様方のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



祝 辞

埼玉県板金工業組合

理事長 河野 俊尚 (埼玉県板金青年部 初代部長)

埼玉県板金工業組合青年部が創立20周年の記念すべき節目の日を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。昭和58年設立以来、多くの青年部員が各種の事業活動を通じ研鑽を重ね、又、友情を育み、自身の向上に生かされた事と確信しております。

この20年間青年部を育てて頂きました7名の歴代青年部長を始め、青年部役員各位、又、ご指導を頂きました全日本板金工業組合連合会や埼玉県中小企業団体中央会の皆様に心より感謝を申し上げます。

現在、当県板金青年部が新井勇司部長の下、団結をして全国に誇れる活躍をしている事に対し敬意を表したいと存じます。

私も初代部長として暗中模索の中、部員の強力なバックアップのもと、積極的にチャレンジをして各種事業を実施した事を懐かしく思い起こされます。当時の夜、例会の仲間との交流は、私の人生の1ページを綴る良き思い出となっております。現在、埼玉県板金工業組合の多くの役員を青年部出身者が就任し、活躍して頂いております。青年部を通じ、組合の将来を展望し勉強して貰い、次代を担う人材が育つ事を期待しています。

今後一層努力をし、実績を重ね、青年部の発展と親組合への協力に寄与して頂きたいと思っております。

埼玉県板金工業組合青年部の発展と部員各位の限りなき躍進をご祈念申し上げまして、お祝いのことばとさせていただきます。



祝 辞

全日本板金工業組合連合会
社団法人日本建築板金協会

青年部部长 河田 雅彦

埼玉県板金工業組合青年部が創立20周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

設立以来、各種の研修会や講習会など積極的に計画、実行され、年々組織を拡充しここに20周年という記念すべき日を迎えられたことを重ねてお祝い申し上げます。発足から今日に至るまで、青年部活動を支えられてきた関係各位の皆様方に対しまして敬意を表するとともに、これも偏に皆様方の熱意と努力の賜と、深く感銘を受けた次第です。

また、貴組合青年部におかれましては、我々全日本板金工業組合連合会青年部の数々の事業に対しまして、大変深いご理解とご支援、ご協力を賜り、ここに改めて厚く御礼申し上げます。

さて、今日依然として我々建築板金業界を取り巻く環境は、大変厳しい状況下にあります。しかしながら、今だからこそ板金工業組合の組織の力を結集し、母体組織とも連携し、みんなの力で乗り切ろうではありませんか。一つの節目に当たる今、業界の発展が事業所の繁栄に繋がることを信じ努力していきましょう。幸いにも貴組合青年部は、この20年間で培われた輝かしい歴史と実績が数多くあります。その経験を活かし青年部員の皆さんが一致団結し、明日の建築板金業界の先導役を果たして頂きたいと存じます。

最後になりましたが、埼玉県板金工業組合青年部が今後、益々飛躍されるよう、また、青年部員皆さんの事業所の、益々のご発展を祈念し、全国の青年部員を代表いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞 更なる飛躍と未来を拓く 行動力に期待を

関東甲信越板金工業組合協議会

青年部部长 野口 育男 (埼玉県板金青年部 第五代部长)

埼玉県板金工業組合青年部の創立20周年を心から御祝い申し上げます。幾多の試練を乗り越え、20周年を迎えられた本年度、関係各位の皆様、そして部員の皆様方のご尽力の賜と深く敬意を表する次第であります。また、日頃は関東甲信越板金工業組合協議会青年部の運営にも、ご協力そして、ご理解頂き、この場を、おかりして厚く御礼を申し上げます。私自信も、埼玉県青年部の4代目の部長として活躍をさせて頂き、数々の出来事が走馬燈の如く思い出されます。さて、20周年を迎えた今日ですが、私達を取り巻く環境は依然として、厳しいものがあります。問題が山積みになって破綻しかけている日本経済、山積みの問題をそっと隅に置き、見ない様になっている昨今、私達の業界も問題が山積みとなってきている中で、先を見据えた、新たな活力が必要となってきております。厳しい時代の中ですが、既存の枠に捕らわれない考え方をもち、青年部としての協同の領域のなかで業界の発展、そして個々の発展の為に、人ひとりが出る事よりも、出来るかも知れない事に挑戦して頂き、若い力が十分に発揮出来る柔軟且つ、しなやかな運営、緻密且つ大胆な行動力そして、活力のある組織力に今後も期待をし、皆様が活躍される事を祈念し、御祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

埼玉県中小企業団体青年中央会

会長 入野 純一

埼玉県板金工業組合青年部が、めでたく創立20周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴青年部が、昭和58年の創立以来、板金業界を先導する若き職能集団、中枢機関として積極的に組織活動を展開され、今日の発展を遂げられましたことは誠に喜ばしい限りであり、これもひとえに新井部長をはじめ歴代役員のご尽力と会員の皆様のご熱意、団結の賜と深く敬意を表する次第であります。

又、弊青年中央会に対しましても、多大なるご指導ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

現在、日本の産業界を取り巻く環境は大変厳しい状況であり、特に製造業においては、今まで以上の品質の向上、短納期・小ロットへの対応、競争激化による販売価格の低下、顧客のニーズの多様化など様々な問題により転廃業する企業が続出しております。そこで、県下最大の異業種集団の青年中央会では、「どうせ買うなら埼玉で、どうせ買うなら会員の企業から」を、モットーに今まで以上の交流及び団結を強化する上で、貴会の限り無いパワー並びに組織力を模範にする所存であります。

何卒、貴会の皆様には創立20周年を契機に、今後も業界発展のため、なお一層ご精進されますとともに、貴会のますますのご繁栄を祈念申し上げましてお祝いのご挨拶といたします。



祝 辞

埼玉県板金工業組合青年部

第二代部長 加藤 英雄

埼玉県板金工業組合青年部が発足して20年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

かえりみますと当組合青年部会として発足するに当たり、河野部会長を推薦したために、不詳私が副部会長などという大役を引き受けさせられ、しかもその後頼みにしていた平野副部会長は関東甲信越青年部から全板青年部長にまで就任してしまい、こんな私が2代目青年部会長にならざるを得なくなりました訳です。それまで団体に所属したことのない私にとって、それは試練以外の何者でもない事でした。つまり自分は何も知らないと言うより、何が分かっているのかを思い知らされる日々の連続であったように思います。しかしお陰で中央会青年部（当時）や関東甲信越青年部に出向し色々な方や団体と接することで、「何を知らないのか？」が分かってくると同時に、「ではどうしたら良いのか」考える様になって、多くの方々に指導を仰ぎながらの青年部役員時代を過ごしたように思います。特に組合の基本理念のようなものは、熊谷の故大島勝太郎氏に大きな影響を受け、今でも師として、事あるごとに思い出しております。青年部員＝若い……だからチャレンジも出来るし、間違ってもやり直しがきく時代だと思っておりますので、現役の諸君には、更に新しいことや今までの違うと思うことなど、失敗や叱責を恐れず挑戦して頂きたいと願っております。

これから30年40年に向けて「入って良かった青年部」を堅持して中身の濃い活動を期待し、20周年記念行事に対するお祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

埼玉県板金工業組合青年部

第三代部長 大島 伸夫

埼玉県板金工業組合青年部創立20周年を迎えましたことを、心よりお慶び申し上げますと共に、今後の青年部活動がさらなる発展を遂げますことを、ご祈念申し上げます。

さて、青年部活動はそれぞれの部員が英知と勇気と情熱を持って、無限の可能性に挑戦して行くことに他なりません。しかも、大切な建物の外装を守ること、惹いては大きな財産を守り提供する仕事である板金業としての“価値の創造”を図り、開拓して行くことが先駆者たらんとする目標だと思います。

この20年の節目の年、しかし、日本を覆っている閉塞感からの脱却は甚だ難しい状況下にあります。とりわけ建設業界ではとうに夢を忘れてしまったかのように現実から離れられず、ただ日々をこなして行くのが精一杯の環境下にあると言えます。しかし、長い歴史の中、夢物語と言われてきたことを先人達は解決し、新たな局面にても打開してまいりました。このような時代だからこそ、夢を持ち、そして語り、一步一步“明日への実現のため”貴重な時間を費やして行くことが、青年としての在り方だと思います。確かに青年部活動は大変な局面で推移しているのが現実である以上、少しずつでも業界の前進した開拓と発展への夢を持ち、近づいて戴きたい。それが次代の埼玉県板金工業組合を担うことにことにつながります。業界の次代を担う青年部として、10年先20年先の将来展望を含め『夢』を語り合い、社会的な責任を持たれ、若い組織力で業界発展のため貢献にチャレンジしていかれることを希望します。



祝 辞

埼玉県板金工業組合青年部

第五代部長 戸井田 章 (20周年実行委員長)

埼玉県板金工業組合青年部20周年を迎えるにあたり、お祝いの言葉というよりは、現役メンバーとして先ずは皆様に対し心より感謝を申しあげたいと思います。

私も青年部に入会し13年が経ちました。入会当時、青年部の先輩方の意識の高さや、行動力にはただただ圧倒されるばかりでしたが、私も第五代目の部長を勤めさせて頂く機会を与えられ、任期2年間、ただがむしゃらに、青年部の発展に努力してまいりました。特に重点を置いたのは青年部における組織と結束力の強化でした。まず行ったのはそれまでの組織のあり方の改革でした。それまで部長、副部長を中心に幹事を置き役員の中で毎月の例会を運営しておりましたが、毎月の例会では4つの委員会を設置し3カ月おきに、各委員会が例会を担当するという形をとりました。委員会構成は集まりやすい各地域に集中させ例会3カ月前に具体的な企画を、委員長をはじめとするメンバーが作り上げ、役員会で審議をするという形をとり、すばらしい企画を考え例会を運営していただくことができました。この形は現在でも青年部の運営として引き継がれています。

青年メンバー全員の協力で、青年部部長の役職を勤め上げた2年間は、私にとってかけがえのないものであり、本当に勉強になったものと思っています。これからの板金業界を支えていくのは我々の世代です。厳しい時代背景のなかで生き残って行くために、常に時代の先の読み前進していくという、青年部の姿勢をこれからも継承していただきたいと思います。



祝 辞

埼玉県板金工業組合青年部

第六代部長 神田 敬文

埼玉県板金工業組合青年部の創立20周年を心よりお祝い申し上げます。

20年という歳月の中で、歴代の部長さんを中心に青年部の充実発展に努められたことはもとより、青年部活動に果たされた多くの実績は青年部自体の歴史的財産に合わせ、板金業全体の財産として評価されるところであります。

メンバーは青年部活動を通じて自からの人としての修練又各自の事業活動を展開し、その研鑽を進める中で、時代に対する的確な判断、社会に対する適正な認識を培ってきたもので、まさに青年の特権とも言うべき積極的行動によって、築いた輝かしい20年でありました。

今や時代は、すべての面に於いて、環境変化への対応・新しい価値観への対応が求められています。時代の転機には歴史的事実の上に立った、先見性と強力なエネルギーが必要とされる事は、いつの時代にも変わらぬ摂理であります。

青年部メンバーが20年という歴史の中で育んだ経験と、実績と、自信が、時代のニーズに充分対応できる巨大なエネルギー源として生かされて行くところに20周年記念の将来的意義が付加されるものと思います。今日の日が新しい時代に向かってのスタート時点になります事を、ご祈念申し上げお祝いの言葉といたします。

歴代青年部長

初代

(昭和58年5月～昭和62年3月)



河野 俊尚

第二代

(昭和62年4月～平成2年3月)



加藤 英雄

第三代

(平成2年4月～平成5年3月)



大島 伸夫

第四代

(平成5年4月～平成9年3月)



野口 育男

第五代

(平成9年4月～平成11年3月)



戸井田 章

第六代

(平成11年4月～平成13年3月)



神田 敬文

第七代

(平成13年4月～現在に至る)



新井 勇司

青年部 この10年の活動

平成5年4月～平成15年3月

平成5年度(1993/4~1994/3) 青年部例会報告

開催日	例会名	内 容	開催日	例会名	内 容
H5.4.28	4月例会	第11回通常総会 卒業式 [鴻巣事務所]	H5.11.11	11月例会	講師例会コーキング材の正しい知識 [鴻巣事務所]
H5.6.11	6月例会	フリートーク例会 [鴻巣事務所]	H5.12.13	12月例会	銅板打出し講習会 [鴻巣事務所]
H5.7.12	7月例会	8月納涼会の企画づくり [鴻巣事務所]	H6.1.29	1月例会	新年会 [東晶大飯店]
H5.8.21	8月例会	納涼会(家族例会) [鴻巣事務所]	H6.2.17	2月例会	今後の青年部の方向性・安全作業勉強会 [鴻巣事務所]
H5.9.13	9月例会	銅板打出し講習会 [鴻巣事務所]	H6.3.11	3月例会	積算についての勉強会 [鴻巣事務所]
H5.10.12	10月例会	銅板打出し講習会 [鴻巣事務所]			

■ 埼玉県板金工業組合青年部 10周年記念式典

開催日：H5.4.17
開催場所：大宮サンパレス

内 容：全板連青年部長並びに、青年部を代表する方々、関係諸団体、メーカーの方々、当組合の役員、青年部OBの皆様をお迎えし、多数の青年部員出席のもと、記念式典並びに祝賀会が挙行されました。



この10周年を大切な節目として、「温故知新」の礎のもと、21世紀に向けて、青年部一同、会員相互の親睦と啓発、当組合の発展に寄与して行く決意を致しました。

■ 4月例会 第11回通常総会 卒業式

開催日：H5.4.28 開催場所：鴻巣事務所
内 容：新部長として野口育男君が選任されました。



■ 全板連青年部 第14回あすなろ研究会

開催日：H5.10.24~H5.10.25 開催場所：信州上山田 圓山荘
内 容：関東甲信越ブロック内での開催であったため、多数の参加がありました。野口育男・見川和明・坂下旭の3氏は夫人同伴で、女性のみでのディスカッションが行われました。



■ 関東甲信越青年部 10周年記念大会

開催日：H5.12.25
開催場所：雅叙国際観光ホテル
内 容：当青年部から8名の参加で、盛大に開催されました。

■ 全板連青年部 第16回全国技能競技大会 日板協青年部 第4回全国建築技術コンクール

開催日：H6.24~H6.25 開催場所：香川県職業能力開発センター
内 容：ZIC(技能)に布施真一君、NIAC(技術)に戸井田章君、新井勇司君が参加。戸井田章君が2位に入賞しました。



平成6年度(1994/4~1995/3) 青年部例会報告

開催日	例会名	内 容	開催日	例会名	内 容
H6.4.26	4月例会	第12回通常総会 卒業式 [バイオランドホテル秀月]	H6.10.23	10月例会	関東甲信越青年部 第10回研修会
H6.6.13	6月例会	積算面積の拾い出し勉強会 [鴻巣事務所]	H6.10.24		[ホテルニュー塩原]
H6.7.10	7月例会	関東甲信越青年部 親睦ゴルフコンペ	H6.11.11	11月例会	積算・見積書の作成の勉強会 [鴻巣事務所会議室]
H6.7.11		[山梨「境川カントリークラブ」]	H6.12.12	12月例会	積算・業界の今後の方向講演 [鴻巣事務所会議室]
H6.7.13	7月例会	積算についての勉強会 [鴻巣事務所]	H7.1.28	1月例会	新年会 [大宮「栄楽」]
H6.8.27	8月例会	納涼会 [やきとり「新盛」]	H7.2.13	2月例会	7年度埼玉 設営ゴルフコンペの打ち合わせ [鴻巣事務所会議室]
H6.9.12	9月例会	計算式の勉強会 [鴻巣事務所会議室]	H7.3.13	3月例会	経営についての勉強会 [鴻巣事務所会議室]
H6.10.11	10月例会	見積の作成の勉強会 [鴻巣事務所会議室]			

■ 例会 見積・積算講習会シリーズ

開催日：ほとんどの例会開催日
開催場所：県板事務所
内 容：基本図面より面積、部材の拾い出し、積算、見積書の作成までを6回シリーズで勉強会を開催しました。

■ 関東甲信越青年部 第10回研修会

開催日：H6.10.23~H6.10.24
開催場所：ホテルニュー塩原
内 容：グループ別で討論会を行いました。グループ代表として3名の埼玉県メンバーが発表しました。



■ 全板連青年部 第17回全国技能競技大会 日板協青年部 第5回全国建築技術コンクール

開催日：H7.2.17~H7.2.18
開催場所：熊本市職業訓練センター
内 容：参加者は、ZIC(技能)に布施真一君、NIAC(技術)に新井勇司君の2名です。建築技術コンクールで新井勇司君が2位に入賞しました。



平成7年度(1995/4～1996/3) 青年部例会報告

開催日	例会名	内 容	開催日	例会名	内 容
H7.4.22	4月例会	第14回通常総会 卒業式 [パオランドホテル「秀月」]	H7.9.11	9月例会	板金工事の施工方法及び素材の取り扱い(県板鴻巣事務所会議室)
H7.4.26	4月例会	親睦ゴルフコンペコース下見 [伊香保ゴルフ倶楽部]	H7.10.29	10月例会	関東甲信越青年部第11回研修会 [雅叙園観光ホテル]
H7.6.12	6月例会	フリートーク例会 [県板鴻巣事務所会議室]	H7.10.30		
H7.6.27	6月例会	親睦ゴルフコンペ実行委員会 [県板鴻巣事務所会議室]	H7.11.13	11月例会	役割の明確化及び会員相互の体制について(県板鴻巣事務所会議室)
H7.7.4	7月例会	親睦ゴルフコンペ実行委員会 [県板鴻巣事務所会議室]	H7.12.11	12月例会	展開図作成 [県板鴻巣事務所会議室]
H7.7.12	7月例会	親睦ゴルフコンペ実行委員会 [県板鴻巣事務所会議室]	H8.1.27	1月例会	新年会 [江戸沢]
H7.7.16	7月例会	関東甲信越青年部 親睦ゴルフコンペ [伊香保ゴルフ倶楽部]	H8.2.13	2月例会	「温故知新」青年部の歴史を今講演会 [県板鴻巣事務所会議室]
H7.7.17			H8.3.11	3月例会	経営について(3分間スピーチ) [県板鴻巣事務所会議室]
H7.8.11	8月例会	納涼会 [つきじ植むら大宮店]			

■7月例会 関東甲信越青年部 親睦ゴルフコンペ

開催日：H7.7.16～H7.7.17

開催場所：伊香保ゴルフ倶楽部

内 容：毎年恒例の関東甲信越青年部の親睦ゴルフコンペ、今年も昨年同様参加人数が100名を超え、担当いたしました当県板青年部としても数ヶ月前から準備が報われた感がありました。伊香保グランドホテルにおける、総勢110名を超える親睦会では、埼玉県板青年部の最も得意とするゲームなどを行い盛り上がりはひとしおでした。結果を見ますと上位10名の中に当県板青年部メンバーが4名いる健闘ぶりをみせ団体戦で3位となりました。今回このゴルフコンペを主催することで、私たち青年部メンバーの一人一人が自分に与えられた役割を素晴らしいチームワークの中で責任を持ってこなしてくれることで、今までの青年部の和を更に大きなものにする事が出来たと思っております。

身近な問題もあったので大変参考になる講演であった。2日目の早朝から講演会は「施工管理技師の重要性」と「建設産業政策大綱-板金業の将来-」。今後、建設業界で仕事をしていく上で、何が重要で、何が重要となるのか、21世紀へ向かう各青年部員には印象深いものになったのであろうと思えた。



■10月例会 関東甲信越青年部 第11回研修会

開催日：H7.10.29～H7.10.30

開催場所：雅叙園観光ホテル

内 容：第11回関東甲信越板金工業組合協議会 青年部研修会 参加者は総勢100名。初日の講演「PL法と保証制度」ではわかりやすい解説に加え講演終了後の質疑でさまざまな具体例も挙げられ、

平成8年度(1996/4～1997/3) 青年部例会報告

開催日	例会名	内 容	開催日	例会名	内 容
H8.4.20	4月例会	第15回通常総会 卒業式 [大宮「京園」]	H8.9.11	9月例会	温故知新パートⅢ [県板鴻巣事務所]
H8.5.9	5月例会	初級管理者のありかた [県板鴻巣事務所]	H8.10.11	10月例会	資格取得について [県板鴻巣事務所]
H8.6.11	6月例会	温故知新パートⅡ [県板鴻巣事務所]	H8.11.18	11月例会	コーキング勉強会 [県板鴻巣事務所]
H8.7.7	7月例会	関東甲信越青年部 親睦ゴルフコンペ	H8.12.11	12月例会	技能競技大会課題展開図勉強会 [県板鴻巣事務所]
H8.7.8		[香木原カントリークラブ]	H8.12.17	12回臨時例会	技能競技大会課題展開図勉強会 [県板鴻巣事務所]
H8.7.25	7月例会	インターネットについて [県板鴻巣事務所]	H9.2.1	2月例会	新年会 [大宮「京園」]
H8.8.31	8月例会	家族納涼会(ファミリークルージング) [新しばかわ棧橋]	H9.3.11	3月例会	屋根外壁について(講師例会) [県板鴻巣事務所]

■8月例会 家族納涼会(ファミリークルージング)

開催日：H8.8.31 開催場所：新しばかわ棧橋

内 容：青年部8月例会

客船は、大人41名(部員20名)子供29名総勢70名(群馬県青年部から小林副部長も参加していただきました)の参加者を乗せて、目的地の葛飾臨海公園に到着しました。公園内は自由行動です。水族館に向かう家族や、蟹釣りを楽しむ家族、レストランの会食で盛り上がる男性軍。それぞれの夏休み最後の休日を楽しみました。(大宮支部 新井勇司)

■関東甲信越青年部 第2回研修会

開催日：H8.10.21～H8.10.22

開催場所：静岡県土肥温泉 桂川シーサイドホテル

内 容：21世紀の板金業に向けて

当青年部から6名が参加した。今回は、元横浜ベイスターズの田代富雄氏を講師に迎え、野球人生を歩んできた苦労話や裏話などを現在の職業と交えながら講演していただきました。ところで工事受注価格の低迷は、避けられないままで、来年度以降は、約140万棟台の動きといわれ、消費税UPの反動の中との戦いも避けられないのか現実で、私たち板金業界も含めて生き残りをかけての戦いをしていかなければならないと認識を新たにしました(部長 野口育男)

■埼玉県中小企業団体中央会創立40周年記念式典

開催日：H8.10.29

開催場所：パレスホテル大宮

内 容：優良団体で知事賞の荣誉

当組合青年部が受彰 中央会創立40周年記念で

去る10月29日パレスホテル大宮において埼玉県中小企業団体中央会創立40周年記念式典が行われ、栄えある知事表彰を青年部団体として受賞した。記念式典には、河野理事長、野口青年部長、大島直前会長が参加し式典を祝した。代表として表彰を受けた野口部長は諸先輩の努力のおかげであると謙虚に語った。

■全板連青年部 第19回全国技能競技大会 日板協青年部 第7回全国建築技術コンクール

開催日：H9.2.12～H9.2.13

開催場所：福島県郡山市

内 容：全板連・日板協 青年部 第19回全国技能競技大会 建築技術の部 押田昌敏君 8位入賞

今回の参加者は、ZIC(技能)に

近藤健治君と加藤史之君、NIAC

(技術)に押田昌敏君の3名です。

当県板より建築技術の部で出場い

たしました大宮支部押田昌敏君が

初挑戦、8位入賞を果たしました。



平成9年度(1997/4~1998/3) 青年部例会報告

開催日	例会名	内 容	開催日	例会名	内 容
H9.4.16	臨時例会	鴻巣事務所の後片づけ [鴻巣旧事務所]	H9.10.15	10月例会	田中吉太郎氏講演 講師例会 [県板事務所]
H9.4.26	4月例会	第15回通常総会 卒業式 [大宮「京園」]	H9.11.11	11月例会	銅板製水屋流し施工区、製作 [県板事務所]
H9.5.15	5月例会	全国板金業者大会(群馬) 参加 [前橋グリーンドーム]	H9.12.12	12月例会	銅板製水屋流し製作 [県板事務所]
H9.6.11	6月例会	フリートーク例会 [県板事務所]	H10.2.1	1月事業	銅板屋根講習会(親組合主催) [県板事務所]
H9.7.9	7月例会	労働災害防止について 講師例会 [県板事務所]	H10.2.8	1月例会	新年会、研修旅行 [行川アイランド他]
H9.8.9	8月例会	ポーリング大会・納涼会 [大宮「ハタボール」・飲食市場だいどころ]	H10.2.9		
H9.9.23	9月例会	家族バーベキュー大会 [利根川河川敷き]	H10.3.1	2月例会	銅板屋根講習会(親組合主催) [県板事務所]
			H10.3.10	3月例会	リフォームについて、フリートーク例会 [県板事務所]

■ 4月例会 第15回通常総会 卒業式

開催日：H9.4.26
開催場所：大宮「京園」
内 容：新部長として 戸井田章君が選任されました。基本方針は「今考えよう 青年としてやるべき事を！語ろう夢をさらなる明日のために！」

■ 関東甲信越青年部 第13回研修会

開催日：H9.10.19~H9.10.20
開催場所：山梨県和倉温泉
内 容：最初は中小企業診断士の一ノ瀬裕幸氏のこれからの板金業界の話の聞き、分科会に別れて話しました。リフォームの話しなどがありました。次の日はカラーコーディネーターの今泉恵美子女士の接客時におけるカラーコーディネートのお話を聞きました。



■ 1月例会 新年会、研修旅行

開催日：H10.2.8~H10.2.9
開催場所：行川アイランド他
内 容：(株)クボタ 鹿島工場に行き窯業系のサイディングの出来るまでを見学をしました。



夜はステンレスの特性についてと鉄板についての勉強会をしました。テレコムセンターなどに行きました。参加者18名。



■ 全板連青年部 第20回全国技能競技大会 日板協青年部 第8回全国建築技術コンクール

開催日：H10.2.17~H10.2.18
開催場所：静岡市「ポリテクセンター静岡」
内 容：競技大会ZIC(技能)に根岸忠雄君と近藤健治君が参加し、根岸忠雄君が第8位となりました。技術コンクールNIAC(技術)には平野直君が参加し、第9位となりました。



平成10年度(1998/4~1999/3) 青年部例会報告

開催日	例会名	内 容	開催日	例会名	内 容
H10.4.25	4月例会	第16回通常総会 卒業式 [大宮「京園」]	H10.10.24	10月例会	板金業の経営合理化 講師例会 [県板事務所]
H10.5.11	5月例会	責任施工保証制度について [県板事務所]	H10.11.11	11月例会	銅板製雨樋施工区 [県板事務所]
H10.6.11	6月例会	青年部活動へのパソコン導入と活用 [県板事務所]	H10.12.14	12月例会	施工区書き方と必要性 [県板事務所]
H10.7.9	7月例会	産業廃棄物と環境問題を考える 講師例会 [県板事務所]	H11.1.16	1月例会	新年会 [大宮「京園」]
H10.8.22	8月例会	納涼会 [ホテルガーデンパレス]	H11.2.27	2月例会	経営セミナー(親組合主催) [上尾福社会館]
H10.9.11	9月例会	活路開拓ビジョンてなー? [県板事務所]	H11.3.10	3月例会	活路開拓ビジョン発表会 [県板事務所]

■ 8月例会 納涼会

開催日：H10.8.22
開催場所：ホテルガーデンパレス
内 容：残暑厳しい8月下旬、ホテル屋外でのバーベキュー大会を開催しました。冷たいビールを片手に、腹一杯の料理で、真夏の暑さも吹っ飛びました！



■ 全板連青年部 第19回あすなろ研究会

開催日：H10.9.20~H10.9.21
開催場所：別府 杉乃井ホテル
内 容：株式会社マドックの荒山氏が講演を行いました。2日目「板金業生き残りゲーム」に参加、グループで勝負を競い、ゲーム終了後は討論や、業界内の問題点や改善点を討論しました。



■ 全板連青年部 第21回全国技能競技大会

開催日：H11.2.17~H11.2.18
開催場所：ポリテクセンター鳥取
内 容：参加者は、ZIC(技能)に菊地誠君、根岸忠雄君の2名です。競技という決められた時間の中で、緊張感があり、とてもいい経験をしました。



■ 3月例会 活路開拓ビジョン発表会

開催日：H11.3.24
開催場所：県板伊奈事務所
内 容：活路開拓ビジョン実現化事業において、営業マニュアル編集等を担当しました。



平成11年度(1999/4~2000/3) 青年部例会報告

開催日	例会名	内容
H11.4.24	4月例会	第17回通常総会 卒業式 [大宮「京園」]
H11.6.2	5月例会	板金業界の経営合理化について [県板事務所]
H11.6.26	6月例会	親睦ボーリング大会 [ラウンドワン大宮]
H11.7.16	7月例会	スピーチ例会 [県板事務所]
H11.8.28	8月例会	納涼会(家族例会) [万場バーベキュー場]
H11.9.22	9月例会	パソコン使用法「あすなる研究会」成果発表 [県板事務所]
H11.10.15	10月例会	仕事に活かせるコンピュータ利用法[上尾「クリック」]

開催日	例会名	内容
H11.11.19	11月例会	技能競技大会課題(バケツ)展開図勉強会 [県板事務所]
H11.12.14	12月例会	技能競技大会(NYAC)課題勉強会 [県板事務所]
H12.1.22	1月例会	新年会 [韓国料理「無窮花」]
H12.3.9	2月例会	見積・請求ソフト講習会 [県民活動センター]
H12.3.16	3月例会	埼玉県電気工事工業組合青年部との合同講師例会 [ソニックシティ902会議室]

■ 4月例会 第17回通常総会 卒業式

開催日：H11.4.24
開催場所：大宮「京園」
内容：新部長として 神田敬文君が選任されました。基本方針は「明るく、元気で、一生懸命！」



■ 6月例会 親睦ボーリング大会

開催日：H11.6.26
開催場所：ラウンドワン大宮
内容：新体制となり、各委員会メンバーの入れ替わりが生じたので、改めて青年部員間の親睦を深めることを目的としました。このボーリング場の玉の穴が比較的大きいらしいので、「どんな太い指でも入る」と思い、決定しました。委員会対抗ゲームでは、各チームが一丸となって真剣勝負しました。終始楽しく和やかな雰囲気、例会が出来ました。



■ 8月例会 納涼会(家族例会)

開催日：H11.8.28
開催場所：万場バーベキュー場
内容：今回の事業の目的は、青年部メンバー及びその家族間の親睦を深めることと、板金業界の今後を語り合い、メンバー間のネットワークを作るということです。参加者は、青年部メンバーをはじめ、家族、理事長、OBの方にも参加していただきました。帰りには温泉に入り、そこでも親睦を深め、いろいろなことを語り合うことが出来ました。



■ 全板連青年部 第20回あすなる研究会

開催日：H11.9.12~H11.9.13
開催場所：ホテルグリーンタワー幕張
内容：「業界の新しいネットワークを作ろう」というテーマで、パソコン活用を中心とした講習会が開催されました。埼玉県板金青年部より9名参加し、入門、初級、中級、上級の4コースで参加者の能力に合わせた実習が行われました。パソコンは「習うより慣れろ」で、どんどん触ることが上達に繋がると感じました。



平成12年度(2000/4~2001/3) 青年部例会報告

開催日	例会名	内容
H12.4.28	4月例会	第18回通常総会 卒業式 [大宮「土風呂」]
H12.5.26	5月例会	これからの例会の希望と将来 [県板事務所]
H12.6.27	6月例会	青年中央会第25回通常総会、青年部情報交流会 [大宮サンパレス5階にて河野理事長の講演を拝聴]
H12.7.24	7月例会	いろいろ知りたい体験談 [県板事務所]
H12.8.26	8月例会	納涼会 [大宮ルミネ屋上ビアガーデン]
H12.10.16	9月例会	労働災害について [県板事務所]
H12.10.22	10月例会	関東甲信越板金工業組合協議会 [新潟湯沢]

開催日	例会名	内容
H12.10.23	第15回青年部研修会	[NASPAニューオオタニ]
H12.11.14	11月例会	技能競技大会課題(ジョーロ)展開図勉強会 [県板事務所]
H12.12.11	12月例会	ホームページ意見交換会 [県板事務所]
H13.2.3	1月例会	新年会 [和風料理「山下軒」]
H13.2.16	2月例会	見積・請求ソフト講習会 [県板事務所]
H13.3.12	3月例会	情報処理委員会結果報告 [県板事務所]

■ 6月例会 青年中央会第25回通常総会、青年部情報交流会

開催日：H12.6.27
開催場所：大宮サンパレス
内容：当埼玉県板金理事長河野俊尚氏が招かれ「青年部の今昔(こんじゃく)」と題したテーマで講演会が行われました。当時の青年中央会での思い出話について語られ、また、「ぜひチャレンジ精神をもってほしい。」と熱弁されました。最後に3つの気として「①勇気 ②やる気 ③根気」という3つの気をもたないと挫折する。」と述べられ、青年部の人たちに「勇断実行をお願いしたい。」などと述べられました。



とを学びました。参加してみて、次代の業界を思う青年なら、まず自ら行動することが大切、と痛感しました。

■ 10月例会 関東甲信越板金工業組合協議会第15回青年部研修会

開催日：H12.10.22~H12.10.23
開催場所：新潟湯沢「NASPAニューオオタニ」
内容：翌年の関東甲信越青年部研修会の開催が埼玉なので、メンバー9名、オブザーバー1名、計10名で参加しました。話題の衆議院議員田中眞紀子氏代理の参議院議員田中直紀氏による講演、不景気の話が中心でした。2日目「明日への突破口」と題した分科会が行われ、他県の方々との厳しい現状の話しから始まり、それを乗り越えるために今出来る事、考え方など、第一線で活躍する同業者の方々の良い影響を受け、将来への希望とやる気が大きく膨らみました。



■ 全板連青年部 第21回あすなる研究会

開催日：H12.9.22~H12.9.23
開催場所：岩手県盛岡市
内容：今研究会は、「生き残りをかけてPartⅢ」と題し、責任施工制度、リフォーム事業への取り組み、新技術への取り組み、の3本柱が中心と盛りだくさんなスケジュールでした。今回は、「リフォーム」・「太陽光発電」をバックアップするのが、「責任施工」というこ



平成13年度(2001/4~2002/3) 青年部例会報告

開催日	例会名	内容
H13.4.28	4月例会	第19回通常総会 卒業式 [熊谷ホテルガーデンパレス]
H13.5.9	5月例会	講師例会「素質論 初級講座編」 [県板事務所]
H13.6.19	6月例会	研修会打ち合せ [県板事務所]
H13.6.27	6月特別会	研修会最終打ち合せパンフレット作成 [県板事務所]
H13.7.1	7月例会	関東甲信越板金工業組合協議会 [熊谷ホテルガーデンパレス]
H13.7.2		第16回青年部研修会
H13.8.5	8月例会	第2回ボーリング大会&カラオケ大会 [大宮 ハタボウル]

開催日	例会名	内容
H13.9.13	9月例会	今の職についての経緯・経験からの自分再認識 [県板事務所]
H13.10.12	10月例会	これからのリフォーム事業戦略私はこうしていただきました [県板事務所]
H13.11.15	11月例会	技能競技大会課題製作 [県板事務所]
H13.12.13	12月例会	講師例会「これだけはやっていけない」マナー編 [県板事務所]
H14.1.26	1月例会	新年会 釣船茶屋「ざうお」
H14.2.23	2月例会	家族例会(スキーと温泉) 奥塩原「ホテル八汐」

■ 4月例会 第19回通常総会 卒業式

開催日：H13.4.28
 開催場所：熊谷ホテルガーデンパレス
 内容：新部長として新井勇司君が選任されました。基本方針は「楽しくなければ青年部じゃない！」

■ 7月例会 関東甲信越板金工業組合協議会第16回青年部研修会

開催日：H13.7.1~H13.7.2
 開催場所：熊谷ホテルガーデンパレス
 内容：平成13年度は埼玉が開催県として設営を任せられることとなりました。「これであなたの明日が変わる！」というテーマで、「素質論」及び月星商事(株)菅原様の講演会を行いました。協賛いただきました各社様も24社と、近年にない盛況で、プログラムも滞りなく進みました。



■ 10月例会 これからのリフォーム事業戦略、私はこうしていただきました(涙)

開催日：H13.10.12
 開催場所：県板事務所
 内容：今回は2部構成で開催されました。

前半は、(株)オリエントコーポレーション・山部氏のリフォームローンの説明、取扱加盟店になる方法の勉強をしました。後半は、リフォーム会社の仕事で失敗を経験した、メンバー同士の赤裸々な告白の座談会を開催しました。「楽しくなければ青年部じゃない！」そして、「楽しいだけが青年部じゃない！」の企画として行われました。



■ 2月例会 家族例会(スキーと温泉)

開催日：H14.2.23~H14.2.24
 開催場所：奥塩原「ホテル八汐」ハンターマウンテン塩原
 内容：「楽しくなければ青年部じゃない！」とチーム深澤は考え、家族例会としてスキー・スノーボーに行く企画を立てました。部員11家族、OB1家族(奥様5名、子供11名)、そしてお腹の中に2名の総勢30名(32名)の参加になりました。この例会を通じて、仲間意識が深まったこと、家族同士が繋がり、そして子供たちも喜んでくれました。



平成14年度(2002/4~2003/3) 青年部例会報告

開催日	例会名	内容
H14.4.26	4月例会	第20回通常総会 卒業式 [大宮「京園」]
H14.5.14	5月例会	銅板講習会(表札作成) [県板事務所]
H14.6.14	6月例会	講師例会いろいろ知りたいお金の話 [県板事務所]
H14.7.6	7月例会	関東甲信越板金工業組合協議会(ホテルきのこの森)
H14.7.7		第17回青年部研修会 七夕の夕べINきのこの森・群馬
H14.8.24	8月例会	納涼会20周年記念事業企画[熊谷ホテルガーデンパレス]
H14.9.20	9月例会	青年部20年の軌跡・これからの青年部[県板事務所]

開催日	例会名	内容
H14.10.9	10月例会	芸術の秋スペシャル [県板事務所]
H14.11.15	11月例会	講師例会「不景気に負けるな開き直り商売哲学」 [県板事務所]
H14.12.9	12月例会	「青年部の未来を語ろう！」 [大宮「京園」]
H15.1.25	1月例会	新年会 [大宮「土風炉」]
H15.2.17	2月例会	青年部創立20周年記念事業説明会 [県板事務所]
H15.3.4	3月例会	青年部創立20周年記念事業準備 [県板事務所他]

■ 8月例会 納涼会

開催日：H14.8.22
 開催場所：熊谷ホテルガーデンパレス
 内容：青年部創立20周年を迎えるにあたり、記念事業の企画・計画などを話しながら、「まだまだ暑いこの夏と、景気の悪さを吹き飛ばそう！」と大いに盛りあがりました。今年も気温39度を記録したこの熊谷。飲み放題のビールはどんどんすすみ、参加者全員の笑顔と笑い声に、「何とも言えない心地よさ」を覚えました。こんな素晴らしいメンバーと共に、勉強会や親睦会が出来る青年部に感謝し、もっともっと多くの方に参加して欲しいと思いました。



■ 10月例会 芸術の秋スペシャル

開催日：H14.10.9
 開催場所：県板事務所
 内容：先日一躍脚光を浴びた京都府板金青年部・西の「燃えぬ千羽鶴」に対抗し、私達埼玉県板金青年部も何か日本の皆様に役立つ事はないか?という事で、リサイクル缶を使用した環境にやさしい・東の「リサイクル犬」を提案しました。



■ 11月例会 不景気に負けるな!開き直り商売哲学

開催日：H14.11.15
 開催場所：県板事務所
 内容：小島宜隆氏と言う日本一の借金王の方を迎えての講師例会を開催。先の見えない世の中、しぶとく生き抜くヒントとこれからの板金業の未来像が得られれば、という思いでメンバーも参加しました。逆境に強い板金業を目指してメンバー全員が確かな手応えを感じた事でしょう。



■ 2月例会他 青年部創立20周年記念事業実行委員会

開催日：H15.2.17 他
 開催場所：県板事務所
 内容：昭和58年に創立された埼玉県板金工業組合青年部も、本年20周年を迎えることができました。青年部では、この1年間、20周年に向けてさまざまな例会を開催し、いよいよ記念事業及び式典を開催する運びとなりました。それぞれ担当委員メンバーが丸となり、現在着々と準備を進めております。



青年部 昨日・今日・明日

第一部：歴代部長座談会
青年部プレイバック10
第二部：現役部長経験者座談会

青年部20周年の意味合い

戸井田：これから20周年から30周年に向け、新たにスタートを切る埼玉県板青年部にとっては、創始の心というものが必要であるのだと思います。そういった意味で青年部ができた経緯を先ず、河野理事長(初代部長)よりお聞きしたいと思います。

河野：埼玉県板青年部の設立は、他の県板から比べれば決して早いほうではありません。ただ当時青年部は全国組織としてはありませんでした。当時の埼玉県板の田中理事長が全板からの依頼で、埼玉県板でも青年部をつくらなければならない状況がありました。その当時私は37・8才だったと思いますが、どこにどんな人がいるかがわからず大変困惑しました。青年部の定年を40才までとし、その対象者をさがすことから始まりました。私も定年まで2～3年しかなく、対象者の人数にも限りがあり10名ほどからスタートしました。その後各支部にご紹介のお願いをし、発足時20数名になりました。そして部長を私がやるならば加藤君・平野君に副部長をやらせてもらうことを約束してもらい、その後組織、会費、運営について決めて行きました。そのときに私が言ったのは、せつかくやるんだから楽しくやろうよ。せつかく青年部をつくったんだから金儲けに繋がることを皆で勉強しようよ。そのかわり昼間は一生懸命仕事をして夜の集まりですので、とにかく1人でも来れば例会はやるというスタンスでやってきました。通常は10人以上でしたが、私も含めて3～4人で例会をやったこともありました。

そして例会が終わると近所の深夜まで営業しているレストランでみんな遅くまで語り合ったものです。そんな事が仲間をつくりいろいろな仕事に繋がったこともあります。例会では弁護士・経理士・美容部員等等いろいろな方にご協力いただき、予算のない中で良いものを一生懸命考えてきました。青年部の仲間はずっとそれぞれの人々が持っている地域の人との繋がりを活かした勉強もすることができました。また良い意味での遊び心の勉強にも気を配った企画も考えました。組織としては、皆さん第一線で仕事をしていますので、それぞれ担当を決め、例えば関東甲信越出向は平野副部長を部長代行として、部長の負担をみんなで分担することも行いました。ただ言えることは若さは何ものにも変えがたい事だということです。そんな若さを活かしていろいろなことを考え、一生懸命やってきたというのが、今この歳になって思うことです。

戸井田：青年部の創始の頃の大変貴重なお話をありがとうございます。それでは次に会員拡大に力を注がれてきた二代部長の加藤先輩に、そのへんのお話をいただきたいと思います。

加藤：さっきも河野さんから話があったように、私たちが河野さんをむりやり部長に押ししたもので、俺がやるからお前もやれ！という感じで無理やり副部長になってしまったわけですが、その時の計算では、河野部長が4年、その次に平野副部長が

部長として4年やれば自分は卒業するだろう、そこで問題なのは誰に3代目を努めて貰うか、そこで考えていたのが大島さん、と言う事でいたわけですが、先ず平野さんが関東甲信越に出向し全板連青年部の部長まで行ってしまったということで、私の計算が狂い2代目部長を受けさせて頂きました。当時から親組合からは青年部に対し補助金を頂いておりましたが、時の理事長から「人数もいないのにそんな補助金はだせない」と言われ、考えたのが会員拡大でした。でどうしたら良いかと言う事でやったのが、各地区で毎月持ち回りの例会を開催し、親でも子でもかまわないからとにかく青年部の例会を見てほしいと言う思いで例会を行いました。その中でも一番盛況だったのが春日部で開催して例会で、その時に来ていたのが第4代部長の野口君だったわけですがそういうかたちで拡大をしてきたのですが、かといってそんなに増えたわけでもない。そこで考えたのが定年を40歳から45歳に延ばしてしまおうと言う事でした。そうやって人数を増やしましたが45歳でまだ青年か？という意見もあり、またしかし定年45歳にすると主だったメンバーは卒業と同時にブランクの時間無く、親組合の役員に入って来てもらえるというメリットもあり、組合全体から考えて、良かったんだか悪かったんだか今でも悩むところではあると思っています。いずれにしても数は力ということととにかく人数を増やして、できれば地区単位で例会を開催出来るくらいにしたかったのですが、残念ながらそこまではできませんでした。

戸井田：ありがとうございます。青年部拡大期ともいえるべきこの時期があったからこそ、今でも約30人ほどのメンバーを維持できている礎となっているのではないのでしょうか。まだまだ我々現役も加藤先輩が部長だった頃の行動を引き継ぎながら、数は力の発想でがんばって行かなければならないと言う事を感じました。それでは今度は平野先輩には全板に青年部部長として出向され、学んだこと、気付いた事、そしてもう少し話を進めてこれからの我々の業界について必要なもの、あるいは青年部のありかたなどもお聞きさせていただきたいと思えます。

平野：先ず私が一番感じていることは、河野さん、加藤さん、大島さん皆そうなんですがこの歳になってもまだパワーがある、これは青年部出身ならではじゃないかと思っています。これは何処から来ているのかと言う事を考えたとき、いつまでも若いときの気持ちが変わらないと言う事があります。それは創立当時から苦楽を共にしてきた仲間がいるという事なんですね。そして研究会の時などは遅くまで仲間と語り合っ、とんでもない時間にホテルの裏からそっと入ってきたなんてこともやってきました。でもそのかわり他県板の人たちとも徹底的に情報交換をやりました。それこそ喧嘩寸前になるくらいまで討論を

出席者 ※敬称略

- 河野 俊尚（青年部初代部長）
 - 平野 光男（元全板青年部部長）
 - 加藤 英雄（青年部第二代部長）
 - 大島 伸夫（青年部第三代部長）
- コーディネーター：戸井田 章

埼玉県板金青年部は20周年をむかえるに当たり、20周年実行委員会を組織いたしました。その主旨としては、これまでの20年間の検証と、今後10年間の青年部のあり方を策定するため、全体事業として捉えるという事です。そこで「青年部20周年の意味合い」というテーマで、10周年をされ、現在OBであり親組合の執行部としてご活躍されている青年部の河野初代部長、加藤第二代部長、平野元全板青年部部長、大島第三代部長によるパネルディスカッションを開催いたしました。

しているわけですよ。人の部屋まで行って激論を交わすわけですよ。ですからいまだにそういった仲間もいますし、全国に行けばまだまだ仲間を増やし続けています。そういう風にできるということは、やはり青年部時代に培ったものだと思っています。仲間意識というものがとても強いと言うことが、このメンバーが今、親組合の執行部のなかで一緒にやっているなかでお互いに何を考えているのかが良く分かっていると言うことなんです。だから言いたい事も言えますし、言いたい事もわかる。だからそんな関係がいつまでも続くし、またその中でも河野さんを筆頭に序列というものも理解しています。皆さんに一番大事にしてもらいたいのはそういう仲間意識を育てる、一にも二にもとにかく青年部に出る事が大事だと思います。私たちが、ちょうど忙しい時期でもありましたが、青年部に出たいがために、仕事も一生懸命やりました。一週間に何時間も寝なくても日曜日休めば、また一週間頑張れる、そんな生活をしてきました。俺は人の倍働いたんだから、稼ぎも財産も倍築いてきた、とよく息子にも言います。だから若い時に何でもやるのが大事です。それと10周年記念誌をみるとわかりますが河野部長はしっかりとまとめることをやってくれました。おかげで私や加藤さんは出向を通じて外の情報収集をすることができ、組合の会報の記事はほとんど我々が書いてきました。つまり青年部の役割とは外の情報も伝えていく、そういうことを行うこともあると思います。また親組合の役員の中には青年部の活動を大変よく理解してくれて、かわいがってくれる先輩の存在も青年部の発展に大きく影響しているということもあります。私もサラリーマンからこの世界に入り青年部で役職を与えられ仕事以外にも人前にたつという勉強もできました。やはり与えられた役を良いチャンスとし、こういう場で失敗しても仲間だからと許される時にどんどん勉強して自分自身を変えていくことが必要です。私はいつでも外へ出て行くということをやりました。今でも外からこの業界を見てきています。そのなかで今の若い人たちに言いたいことは、この業界は非常に閉鎖的なんです。外から見ると特にそう感じます。そういうところを皆さんの若い力を変えていってもらいたい。そういうパワーがないと、なかなかこの業界変わらないんじゃないかと思っています。また外からの情報もどんどんいれて、それをヒントに新しいことを考え、社会的にも認められる板金業を、そして青年部を築いていってもらいたいと思います。いつか板金業をやっていて良かったといえる時代を皆さんで創っていってもらいたいと思います。全国のなかでもいつも埼玉が一番だと言う意識をもってこれからも頑張っていたらいいと思います。

戸井田：ありがとうございます。たくさん貴重な話があったかと思っています。そのなかの一つキーワードとして「変わる」とい

う言葉がありました。私自身も去年までの自分、今年の自分、そして来年の自分、毎年毎年変わっていかねばならないと言う事を平野先輩から教わりました。常にそういったことを意識して実践していくことが大事なんだろうなという事を、今感じております。またこの青年部は親組合の皆さんに愛されているな、という事をあらためて感じさせて頂きました。それでは最後になりますがさきほどご講演いただきました大島先輩より、この業界を引っ張っていくのはやはり我々の世代なのだろうという事で、今後の青年部はどうあるべきか、また板金業界をどう変えていくべきなのか、と言う事を中心にお話いただけますでしょうか。

大島：先ず自分の視野を広く持つことと言うのは、先ほど平野さんも言っていました。重要なことは日経新聞でも、工業新聞でも業界に関係する事には興味を持つことが大事だと思います。環境問題を中心としたさまざまな問題が、板金業にどう関連付けることができるかで、先ずやってみようという発想が生まれると思います。勉強すればどうにかなるのがこの業界です。そういった意味で常に情報網を張り巡らせ、自分の道を拓いていくのが一番必要だと思います。私も学校を卒業しすぐにこの業界に入りました。入った当初この業界はなんて視野が狭いのかなと思いました。

私が高校時代から親に連れられ板金業界のいろいろな所を見てきました。いつまでも雨や雪など天気の仕事が左右されているわけにもいきません。地域によっては昔から雨や雪でもエアーツールで作業しております。しかしその地域は雨や雪で休んでいるわけには行かないという現実があり、そうしている訳です。その点関東はそうまでして雨や雪の日に仕事をする必要もありません。しかし今ではそうも言ってもらえません。今どうするかは、要は自分たちが変わらなければ、業界も変わらないという事です。青年部として必要なのは外からの情報を集め視野を広げる。どんどん外へ出て行って、かけたお金のいくらかでも自分に吸収していくことです。そしてその経験をまた人に話していくことがこの業界の発展に繋がるものだと思います。今の板金業にとらわれず自由な発想で、またそう言うことを考えながら今後も頑張っていたらいいと思います。

戸井田：今の大島先輩の話の中では、視野を広げる事、いろいろな情報を取り入れる事が今の青年部では必要である、と言っていたのだと思います。せつかくこれだけの顔ぶれが揃う事も、なかなか無いと思います。今後の青年部の10年間に向けた行動のヒントが掴めた気がいたします。これだけの話を一度に聞ける貴重な機会を大変お忙しい中つくっていただいた河野先輩、加藤先輩、平野先輩、大島先輩に心より感謝を申し上げ、パネルディスカッションを終わらせていただきます。

青年部・プレイバック 10

創設から10年間の歩み

昭和58(1983)年

■主な活動■



- 1月：青年部設立準備会発足
5月：総代会で承認、青年部創設される。メンバーは<部会長>河野俊尚<副部長>平野光男・加藤英雄<会計>吉野一男<幹事>川田桂司・島野保夫・伊藤修久<会計>斉藤広志<監事>浅野照夫の各氏。※「即刻全国組織に加入せず、当面は組織固めに専念」が基本方針
11月：第一回研修旅行（鬼怒川観光ホテル（写真））

■この年の主な出来事■

<政治・経済>ロッキード裁判・北海道知事選に勝手連登場<世界>大韓航空機墜落<社会>戸塚ヨット事件<世相>東京ディズニーランド開園・くれない族・エアロピクス<本>気くばりのすずめ・探偵物語<テレビ>おしん<歌>さざんかの宿・釜山港へ帰れ<映画>天城越え<流行>積み木くずし・軽薄短小・義理チョコ・ヤンキー族

昭和59(1984)年

■主な活動■



- 1月：新年会（大宮・東晶大飯店）
4月：青年部総会
9月：第2回研修旅行（磐梯熱海）＝

協賛メーカー3社のステンレス・アイアン雨とい・カラー鋼板等商品説明で活発な質疑。ユーザーへのPR・マニュアル作成・施工法説明などに関し総合ディスカッションを行い各メーカーに要望

- 10月：鋼板メーカーと討論会開催
12月：施工管理者教育講習会（写真）

■この年の主な出来事■

<政治・経済>第三セクター開業<世界>ガンジー首相暗殺<スポーツ>ロサンゼルス五輪<社会>グリコ毒物事件<世相>有楽町にマリオン登場・一人暮らし老人100万人突破・人材派遣<歌>長良川艶歌・涙のリクエスト<本>見栄講座・金魂巻<映画>風の谷のナウシカ・お葬式<流行>ポデコン・クアハウス・どんとぼっちい・エリマキトカゲ

昭和60(1985)年

■主な活動■

- 1月：新年会（大宮・あじせん）
2月：第7回全板青年部技能競技大会（松本）に平野・加藤両氏を審査員に派遣。出場選手は笛木治氏。
4月：青年部総会
5月：鎌北湖で2日間にわたりミーティング
6月：銅板講習会
7月：関東甲信越ゴルフコンペで団体優勝
8月：新製品の取り組み方講習
10月：関東甲信越第一回合同研修（水上「じゅらく」）

■この年の主な出来事■

<政治・経済>国鉄の民営化決定・<世界>ジャパンバッシング・メキシコ大地震<社会>日航機御巣鷹山に墜落<世相>小・中校でいじめが問題に<歌>俺あ東京さいぐだ・恋におちて<本>アイアコッカ<映画>ネバーエンディングストーリー<テレビ>金曜日の妻たちへ<流行>スパーマリオプラザーズ・私はこれでたばこをやめました・ミスマッチ

昭和61(1986)年

■主な活動■

- 1月：新年会（大宮・あじせん）
2月：第8回全国競技大会に沼上秀夫氏出場
4月：銅板の着色技術について＝神奈川県板と交流会
5・6月：銅板打ち込み技術講習会
7月：例会（水上ホテルジュラク）
8月：納涼例会
10月：銅板講習会
11月：研修旅行＝業界の現状と新分野への挑戦をテーマにメーカー3社を講師に招聘（秩父・ホテルみやま）

■この年の主な出来事■

<政治・経済>土井たか子が日本初の女性党首に<世界>チエルノブイリ原発事故<社会>男女雇用均等法施行<世相>東京で地価高騰・急激な円高・ドル安<歌>男と女のラブゲーム・熱き心に<本>知価革命・化身<映画>バック・トゥ・ザ・フューチャー<テレビ>ニュース・ステーション<流行>エステティック・究極の〇〇・新人類・ファミコン

昭和62(1987)年

■主な活動■



- 1月：新年会
2月：第9回競技大会に根岸忠雄氏
3月：県中小企業団体青年連盟見学会・懇談会（東武サロン）
4月：総会で加藤氏第2代部長に。県青年中央会会長に河野氏
5月：全板連青年部長に平野氏。男のみだしなみ講習会（写真）
7～：部員拡大をめざす地区例会を各9月 地で開催する

11月: 関東甲信越ブロック青年部研修会(くろばねスプリングス)

■この年の主な出来事■

<政治・経済>国鉄・JR 6社に分割・民営化<世界>N・Y株史上最大の下落<社会>青森-八戸間の高速道連結<世相>後楽園球場50年の歴史を閉じる・超伝導ブーム<歌>人生いろいろ・命くれない<本>塀の中の懲りない面々・サラダ記念日<映画>マルサの女・スタンド・バイ・ミー<テレビ>ちよっちゃん・独眼流正宗<流行>地上げ屋

昭和63(1988)年

■主な活動■

1月: 新年会
2月: 第10回競技大会に野口育男氏参加
3月: ワープロ実践教室開催
4月: 総会
8月: 納涼会(大宮・栄楽)
10月: 第9回全板連青年部研究会に平野全板部長・加藤部長・大島副部長・野口氏が参加。200名を集めて広島で

■この年の主な出来事■

<政治・経済>リクルート事件。<世界>米大統領にブッシュ氏<社会>青函トンネル開業・東京ドーム球場開場・天皇の容態悪化・各界で自粛相次ぐ<世相>プロ野球にダイエー・オリックス誕生・スパイクタイヤ製造中止<歌>乾杯<本>ゲームの達人<映画>敦煌・ラストエンペラー<テレビ>教師びんびん物語<流行>朝シャン・オパタリアン

昭和64・平成元(1989)年

■主な活動■



1月: 消費税講習会
2月: 第11回競技大会に高田和雄氏出場(写真)
3月: 消費税セミナー
4月: 消費税カルテルと対応ワープロ講習会
5月: 総会・卒業式
9月: 全板連青年部研究会(熱海)に平野・加藤・小林・大島・野口・

河野・栗原・沼上・鈴木氏参加

■この年の主な出来事■

<政治・経済>天皇死去・消費税スタート<世界>ベルリンの壁撤去・天安門事件<社会>吉野ヶ里遺跡発掘・川崎市の竹藪で1億円余の札束発見<世相>美空ひばり死去・千代の富士に国民栄誉賞<歌>酒よ・あした<本>孔子・一杯のかけそば<映画>黒い雨・あ・うん<テレビ>青春家族<流行>フリーター・マスオさん・24時間戦えますか

平成2(1990)年

■主な活動■

2月: 第12回競技大会で高田和雄氏4位に。埼玉勢出場6回目にして初の入賞
4月: 総会で大島伸夫氏が第3代部長に。河野・鈴木氏が卒業
5月: 県板保証制度委員長に河野氏が
9月: 第10回全板連青年部研究会(松島)に平野・大島・加藤・野口・川田氏参加
10月: 研修旅行(新潟・ホテル弥彦)

■この年の主な出来事■

<政治・経済>地価暴騰全国に蔓延<世界>イラク、クエートに侵攻<世相>臨海副都心・気象異変始まる<歌>おどるポンポコリン<本>Noと言える日本<映画>おもひでぽろぽろ・ターミネーター2<テレビ>ちびまる子ちゃん<流行>エアバッグ・マルチメディア・自己啓発講座・ファジィ・オヤジギャル・あげまん・アッシー君・ポランティア

平成3(1991)年

■主な活動■



2月: 第1回日板協全国建築技術コンクールで大島氏2位・野口氏5位に(写真)
4月: 総会・川田氏卒業
5月: 県板副理事長に河野・専務理事に平野・総務委員長に加藤の各氏が就任
5月: 県青年中央会副会長に大島氏
10月: 関東甲信越青年部研究会を主管、経営研修会を熊谷・ホテルサン

ルートで開催

11月: 全板連青年部研究会(岡山)に平野全板部長・大島部長・加藤顧問参加

■この年の主な出来事■

<政治・経済>PKO協力法案・総工費1,569億円の新都庁舎完成<世界>ソ連崩壊・湾岸戦争<世相>グリーンコンシューマー・ダイヤルQ2<歌>SAY YES<本>ノストラダムス戦慄の啓示<映画>息子・羊たちの沈黙<テレビ>東京ラブストーリー<流行>朝シャンなど若者に清潔症候群・きんさんぎんさん・〇〇じゃありませんか・ゴマちゃん

平成4(1992)年

■主な活動■



2月: 第14回競技大会に馬場信義氏出場。第2回日板協コンクールに野口・戸井田(5位)両氏出場
3月: ひとめでわかる経営ハンドブック講演会
4月: 総会 栗原・平野両氏卒業(写真)
6月: TQC勉強会(10月にはパート2を開催)
7月: 青年部創設10周年記念事業準備会スタート
9月: 研修旅行=CAD・カバーーフ工場見学(伊豆)

■この年の主な出来事■

<政治・経済>佐川急便事件・国際貢献<世界>韓国と中国国交樹立<世相>カード地獄・低公害車・カラオケボックス・アウトレット<歌>晴れたらいいね・君がいるだけで<本>明け方の夢・受け月<映画>紅の豚・氷の微笑<テレビ>ツイン・ピークス<流行>RV車・アンピリーバボー・整形シンデレラ・冬彦さん・ばついち・ジュリアナ東京

<参考資料>『20世紀年表』(毎日新聞社)『昭和・平成家庭史年表』(河出書房新社)『昭和史年表』(小学館)

※主な活動と写真は『10周年記念誌』より引用

第二部

● 現役青年部 部長経験者座談会 ●

青年部未来展望を語る

開催日時：平成15年3月4日(火) 20:30 ~ 21:30

場 所：埼玉県板金事務所 1階

出席者：野口、戸井田、神田、新井

進行役：押田

書 記：平野

※敬称略



押田：本日はお忙しいところお集まり頂き有難う御座います。今回、青年部創立20周年を迎えるに当たり、現役青年部の部長経験者による座談会を開催したいと思います。

そこで今回のテーマですが、「青年部創立20周年を迎えて」と題しまして、

1. 板金業界のこれからのあり方
2. 今後の青年部がどうあるべきか
3. 全板青年部や関東甲信越ブロック協議会青年部に求めること

の3つのテーマについて、皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。普段では語ることの出来ない忌憚ないご意見を頂ければ有難く思います。

では、早速ですが、まず1つ目のテーマであります「板金業のこれからのあり方」について、野口さん(4代目部長)如何でしょうか？

野口：昨今の厳しい社会背景の中では、みんな大変だろうと思う。生き残って行く為には、1人1人が囚われない(型にはまらない)ように見極めた方が良いのではないのだろうか。板金だけにこだわらず、自分が何をしたら良いのかを模索したら・・・。

戸井田：業界全体が世の中(お客様)に必要とされるのが一番大事だと思う。どんな取引先のパターンであっても、例えばゼネコンや個人などでも全て対等なパートナーであるべきであって、このようにする為には、どのようにすべきかを各々が考える事で先が見えて来て、お客様の満足(CS)度を上げ、マッチ(きちっと答えられるように)するように考え

る必要があるんじゃないか？

押田：板金業界が世の中に求められる事が必要と言う事ですよ。ね。

戸井田：古い考えの人は、自己満足で終わってしまっている。これからは、コスト、スピード、お客様の希望を先に考えて動かなければいけないと思う。業界全体としてね。作る側でなく、お客様第一主義ということでしょう。

神田：技術はもちろんだが、厳しい中では、どうしても目先だけになってしまいがち。仕事のその場だけ(目先利益優先)だけでなく、もっと先のスパンで対人関係も考えていこうと思っている。

ゼネコン相手にするのか個人相手にするのか様々であるが、人間関係を大切にすることが必要なのではないだろうか。また、各々の得意分野を伸ばした方が良いのでは・・・。

人間関係が大切で、そこから輪が広がり仕事にも繋がっていくのではないだろうか。

新井：住宅を主にやっているの、地域密着型の板金屋、狭い範囲の中でやっていこうと思っている。お客さんからお客さんへクチコミで伝わる信頼を勝ち取り、営業出来るようにして行きたい。

押田：地域密着型で、信頼を大事にして行きたいということですね。

では、ここで、これらの出た意見について何かあればお願いしたいと思います。

戸井田：時代を早めに読むのが大事なんで、ISOや環境などにも着手しているイメージ(業界全体としての板金屋のイメージを確立することによるイメージアップ)づくりも大切だと思う。

得意分野作りとその明確性、さらにそれを伸ばすことだろう。既に始まっている淘汰の中で生き残らなくてはいけないし、勝ち組に入る為には、その選択肢は3つしかないと思っ

て、
①戦って勝つ ②戦わずして負ける ③傍観して去る
だと考えている。この「戦う」と言うのは、自分の生きる道をきちっとつくって行く事だと思う。戦える体質づくりをそれぞれの事業所が作る事で、全体のイメージアップに繋がるのだろうし、武器を持つ事は必要だろうし・・・。次の「戦わずして・・・」と言うのは、何もやらずに負け組に入ってしまうという事だと思う。危機感を持つ必要があるのだろうと思う。

押田：時代が何を求めているのか敏感に反応しながら業界のイメージづくりが大切であり、各々の得意分野を伸ばしていったら良いのではないかと。さらに、選択肢は3つしか残されておらず、「戦って勝つ」か「戦わずして負ける」か「傍観して去る」に大別することが出来ると・・・。

戸井田：この3番目は、後継者がいないことも含まれてくるだろうから、業界を伸ばしていくのなら、業界として後継者作りをすることも必要だろう。とにかくもっと危機感を持つことが必要でしょう。

押田：とにかく「戦って勝つ」ことで勝ち組に入らないといけないだろうということですね。

野口：単純な考えで見ると、発注される単価が安く、「こんな安い単価では出来るか」という場合があるが、実際、安い単価でもやっていかなければならないとすると、安価な仕事でも出来るという考え方、そしてそれをこなして行ける自分の器量を持つことが必要なのではないだろうか。何もやらなければ、淘汰の道に進んでいってしまうので、これが当たり前という認識を前提に、お客様も賢い時代になっているので、原価計算のしっかりした把握などより一層必要だろう。

戸井田：安くてもやるやり方は、徹底して詰めていけばいくらでもあるでしょう。原価計算をどこまで徹底してやるか、見積もりにしたって材料だって下げる余地がまだある訳だし、工賃だって下げてそれでもなおかつ利益を出すやり方だってまだある訳だし・・・、今、普通の仕事していたら出てこない（利益が）だろうしね。早い者勝ちの世界もあるし、神田さんが言われたコミュニケーションの世界もある訳だし、その優先順位をお客様にどこまでつけてもらえるかどうか（人間関係をつくって）ではないか？ 人間関係があって優先順位をつけて貰えるのであれば、それもありかなと思うけれども。

野口：長い付き合いからの交渉力、もうちょっとの段階から金額をより多く引っ張ってくるように頑張ってみるなど、交渉力が受注価格を左右することもあるし・・・。

戸井田：求められるものがあるのかどうか。値段が少し高いけど見合うだけのプラスαがあるとか、お客さまに対する絶対の信頼関係があるとか、ということは大いと思う。このような関係をつくるのは非常に大事だと思う。結局、これは、業界のイメージだし、板金屋はいろんな仕上げ業者と比べて格が下みたいになると、どうしたって価格競争になると、全体の予算の中でも厳しくなるということが必ず出てくると思う。業界全体のイメージアップをする事で是非格上げを・・・。

神田：今、環境が騒がれているところだからということで、当組合でも環境委員会なるものを行っているが、その中で太陽光発電や雨水利用など、自然環境を利用しながら我々が出来分野なども視野に入れて取り組み、特に埼玉県板金工業組合などでは情報発信しながら、得意な分野もあるので、お客様に先駆けてPRする上手な方法を考えたい。

押田：環境問題に対してお客さまにいち早くPRをするということですね。

神田：ただ、我々はなかなか言葉に出してのPRが下手でね、腕はあるけど・・・。

戸井田：でも、そこから変えて行かないと・・・。技術だけということではダメで、業界を上げていこうと言うのであれば絶対にPRが必要で、これが出来なければ、業界全体は上がって行かないと思う。そういった点では、塗装業界は非常に上手だと思う。こういうことは、特化したメーカーや業者がいたりすると全体のイメージアップも出来るしね。

今、世の中のスピードが速いので、それについて行ける体質をもつことも重要だろう。お客さまが求めているのはスピード。もしこのスピードについて行けなければ、業界自体がダメになってしまうのではないだろうか？

押田：では、そろそろこの辺でまとめてみますと、「板金業のこれからのあり方」については、

- ・お客様の満足(CS)出来る仕事をする
- ・地域密着でクチコミの信用を勝ち取る
- ・いち早く環境を大事にしたPR活動とその取り組みをする

- ・厳しい単価の中でのお客様との信頼関係からの人間性をもつ
- ・スピード(メールでの対応など)について行ける体質にする
- ・業界をランク付けの上位の方に持っていく
- ・ITへの対応をする
- ・ネットワーク(組合)は、それぞれの独自性を活かし、勝ち組みに入れるよう頑張る

といった項目が挙げられると思います。

押田：引き続き2つ目のテーマ「今後の青年部はどうあるべきか？」について、ご意見をお願いします。では、順序を逆にしまして、新井さんよりお願いします。

新井：やはり、青年部時代のしっかりした人間関係を大事にしたいと思う。青年部以外の人達からは実際とは異なる誤解された話ばかりが先行されていて、青年部に入ってもしょうがないという話を聞き、非常にショックだった。青年部メンバーは、大きく仕事をやっている人ばかりではなく、個人事業所でも頑張っている事をアピールして行きたいと考えている

押田：埼玉県の中では、誤解されている部分があるので、その辺のイメージを変えて行けるようにしたいということですね。では、神田さん・・・。

神田：個人的なことを話させてもらえば、青年部に入った理由は、地元が田舎であって新井さんの話した青年部のことは聞いていたが、青年部にはどんな人があるのか、どんなことをやっているのだろうか、様々な情報が得られると思っていた。人間との付き合いを早いうち（青年部時代）に築き、将来の財産にしたら良いのではないかとと思う。

押田：青年部のうちに、人と人との付き合いをして、自分と違うことをやっている人を見て勉強して行くということ・・・。

神田：同業者はみんな敵と思っている人もいるが、青年部はそのようなところではないし、仕事だけにこだわらず色々なことを聞けるので、非常に良い場であると思う。交流を増やして話し易い情報交換の場を大事にしたいと思います・・・。

押田：では、戸井田さん如何でしょう。

戸井田：1点目は、人間関係の作り方（同じ価値観の）だろうと思う。青年部に入って良かったと思うのは、目標になる人がいたりしたことだ。自分の目標が見つかる。埼玉県板金や関東甲信越、さらに全国に出ればいろんな人がある。人として大きな人、目標となる人が見つかる。但し、仕事の大小は別として・・・中には大きいことをやっている人も必要で、誰もが小さいことだけでは、この業界は先細りになってしまうと思う。親子だけでやっている、親しか見れない。仮に親があまり良い目に合っていないければ、後継者は途中でイヤになりやめてしまい、後継者がいなくなってしまうだろう。青年部に入った頃に比べて自分も変わっていると思う。目標に向かって行けていると思うし、今の世代で言えば、自分がその目標になければいけないと思うし・・・。

2点目は、夢を語る仲間がいる事は必要だと思う。それぞれの選択肢が得られるのがこの青年部だと思う。

新井：人間関係が大事であるが、その中で青年部には目標となれる人がいたということですね。それから、夢を語る仲間が、この青年部の中にいるということで、これらのようなことを、青年部活動として大事にして行きたいという考えですね。では、野口さん・・・。

野口：新井さんが言っていたことも事実であるが、話だけ先行しているところがある。入っていない人は、もっと青年部

を活用して欲しいと思っている。

親しかいなければ親しか見れないし地元でやってれば地元しか見れないし、大きなものだけを求めてはいけませんが、親が子を閉じ込めず、外へ出て様々な人と出会い、持ち帰り、刺激の場（青年部）にして欲しい。様々な中で一番出やすい場でもあるから。人が環境で育つことは、多々あるから・・・。

押田：青年部に入っていない人にも活用してもらいたいし、青年部に入っている人であっても枠に囚われず、出会いは人を大きくするものであるから大切に、そこで得たものを各々が持ち帰れるような刺激のある場になることが青年部として大事なのではないだろうかということですね。

新井：改めて言うけれど青年部は誤解されている。

入会もしないで誤解が発生しているのは本意であり、非常にビックリしたこともある。噂以上に我々がしっかりと様々な活動をする中で、そのような人達を少しでも減らしたい。何でそのような噂があるのかも可笑しいが・・・。

押田：誤解のない青年部活動をして行きたいということ・・・。

戸井田：でも、誤解でものを言うことも可笑しい話で、そのような事をやっているから青年部に入れられないという考え方は可笑しいよね。

新井：そう、だから話が合わない。そういった人たちは、一方的な話しか聞いていないから、もし、青年部への入会を誘っても既にちょっと引いているしね・・・。そういう人が多く見受けられる。

戸井田：青年部には、情報が一杯あると思う。

野口：このような事は、非常に寂しい。若いうちは、常に挑戦者であって欲しい。

押田：若いうちに、いろんな刺激を受けることは必要だろうということですね。

戸井田：若いから戦えるのではないだろうか？歳をとったら守り（保守的）になってしまいがちなので・・・。

皆の力を仲間で構築することが出来る。大小を問わず、やりとりしたりも出来る。お互い利益を享受することも出来るしね。これは、青年部だからのメリット、今だから出来るのでは・・・。これからは、組合などの団体での共同受注なども考えていくべきではないか。

また、団体だから利用出来る補助金制度などの情報の共有化など、個別では出来ない協力化によるメリットは大きいだろう。

押田：様々なご意見が出たところでまとめますと、「今後の青年部はどうあるべきか」について、

- ・若いうちだから出来るメリットを活かす
- ・情報の共有化や補助金など会員のメリットが得られるようにする
- ・刺激の場である事のPRが必要である

以上、このようにまとめられると思います。

押田：では、最後に「全板青年部及び関東甲信越ブロック青年部協議会に求めること」についてのご意見を伺いたいと思います。

神田：組織はあまり強く思っていなかったが、埼玉に拘らず業界内での知り合いが増えたことは良かったと思っている。関東甲信越では、ゴルフや研究会があったことは非常に良かったと思う。また、全国では、あすなろや研究会など・・・。また、スケールメリット（埼玉単独では難しい事業などの

運営）が活かされれば良いのではないかと・・・。

戸井田：仲間が出来たことのメリットは感じている。地場にこだわらず、外へ目を向けられる。仕事の繋がりでもネットワークも活かすことが出来る。全板などでやっている事の真新しさが感じられないので、もう少し、真新しいものをもって良いのではと思う。

また、関東甲信越ブロックでは、各都県板との温度差をなくせないのだろうか？。昔は、非常に温度差を感じられたが、今はどうなのでしょう？。

野口：最近の問題点として感じられるのは、千葉県板青年部が挙げられる。現理事長の関係なのか、青年部が活発化していない。また、神奈川県板青年部では、青年部内で分裂してしまっている。（横浜とそれ以外で・・・）良い動きとして挙げられるのは、長野県板青年部だろうか・・・。

戸井田：親組合の体質なども出てくるのだろうか・・・。

そういう意味で全板青年部はどうでしょうか？

野口：あすなろと競技大会だけで真新しさが無いことが現状ですね。しかし、続いてきている大会などを一度休止すると賞が貰えなくなることもあり、常に集まっている訳でもないので、話がなかなか煮詰まらないでいる。今までの継続事業をやる事で手一杯なのが実情のようだ。

昨年、アンケートをとって見たところ、初めての参加者もいて、今後も研究会を続けて欲しいという要望もあるし、真新しいものをやるというリスクも伴ってしまう。

戸井田：同じことをやり続けても業界は変わらないと思う。何か、事業を考える機関があっても良いのではないかと。親組合は、考えても実行出来ないだろうから、若人である青年部が引っ張っていきべきだろうと思う。従来のものを潰さなくても違うことを追加しても良いのでは・・・。

野口：全体で考えると、難しい部分が出てくる。各々の青年部でも活動が様々であり、各ブロックでさえ、足並みが揃わないのが現状だ。埼玉は例外に思う。

新井：ほとんどは親睦のようなもの。

野口：そう、そう。

戸井田：以前、関東甲信越ブロック青年部協議会で今回のようなことを話したら、それは何？何言ってるの？ といった目で見られたことがあった。

もう一度、青年部のあり方を見直した方が良いのではないだろうか？

野口：今年、多少ではあるがそのような話は出てきている。

戸井田：ただ、集まりだけでは、尻すぼみ（業界の格下げ）になってしまうのでは？。

押田：ご意見が出揃ったところで、「全板青年部や関東甲信越ブロック協議会青年部」についてまとめますと、

- ・青年部のあり方考える機会を設ける
- ・各県の温度差を無くしたい
- ・現在の部長会を有効に活用してはどうだろうか？
- ・活動としては、埼玉県板青年部がトップクラス？
- ・親組合の体質によることも大きい影響があるのでは？
- ・逆に、全板青年部等に求める事がナンセンスなのでは？

ということになるのかと思います。

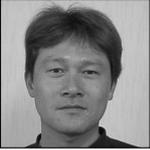
これらの挙げられた項目を目指し、それを実行し、少しでもより良い方向に進められるように出来たらと思います。

普段あり得ないかなり有意義な座談会が開催出来たと思います。

アクセス版 青年部会員名簿

(平成15年3月現在)

氏 名	事業所名 所在地	TEL・FAX 携 帯 HPアドレス E メール	事業所PR
 野口 育男	ノグチシートメタル(株) 334-0057 埼玉県川口市安行原92	048-295-1229・048-295-1249 090-3106-4592 ZWS02346@nifty.ne.jp	日々変わりゆく社会に 日々変身そして日々前進！
 戸井田 章	(株)伸起産業 362-0051 埼玉県上尾市地頭方538-9	048-726-3805・048-726-3806 090-3105-8503 a-toida@nifty.com	ISO9001認証取得しました。こいつを活かして、まだまだ行きますよ！！
 神田 敬文	神田板金(有) 357-0033 埼玉県飯能市八幡町5-1	0429-72-2938・0429-72-9351 090-3200-3854 kankun@carrot.ocn.ne.jp	屋根・外装の新築・リフォーム、なんでもOK。
 新井 勇司	(有)新井建築板金 337-0003 埼玉県さいたま市見沼区深作4327	048-683-5616・048-684-5554 090-3144-0710 artmetal@sky.p.lala.or.jp	楽しくなければ青年部じゃない！作戦完了！でも、まだまだ頑張るよ。HERE WE GO！
 押田 昌敏	(株)押田工業所 331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町690-3	048-623-5587・048-623-5590 090-8891-6358 m.oshida-ind@tbc.t-com.ne.jp	建築用製作金物取付工事全般をやっています。ステンレス、スチール、アルミ等色々取り扱います
 鈴木 義章	(有)鈴木板金工業所 340-0217 埼玉県北葛飾郡鷺宮町鷺宮397-1	0480-58-8127・0480-58-8174 090-1995-9054 suusan@dab.hi-ho.ne.jp	・折版工事・鉄板曲げ加工 ・雨樋工事・金属サイディング工事
 布施 真一	布施建築板金 360-0014 埼玉県熊谷市箱田6-17-4	048-522-5458・048-522-5458 090-4918-0519 fuse112233@docomo.ne.jp	仕事以外で趣味として銅板細工！今は特に彫金、これからも残して行きたいと思います。
 深澤 仁	(有)大宮板金 337-0015 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼202	048-683-1487・048-683-1968 090-3408 3799 zar33134@fox.zero.ad.jp	・折版構造屋根 ・各種屋根(金属系・窯業系) ・各種外壁(金属系・窯業系) ・雨樋工事 ・各種トータルリフォーム

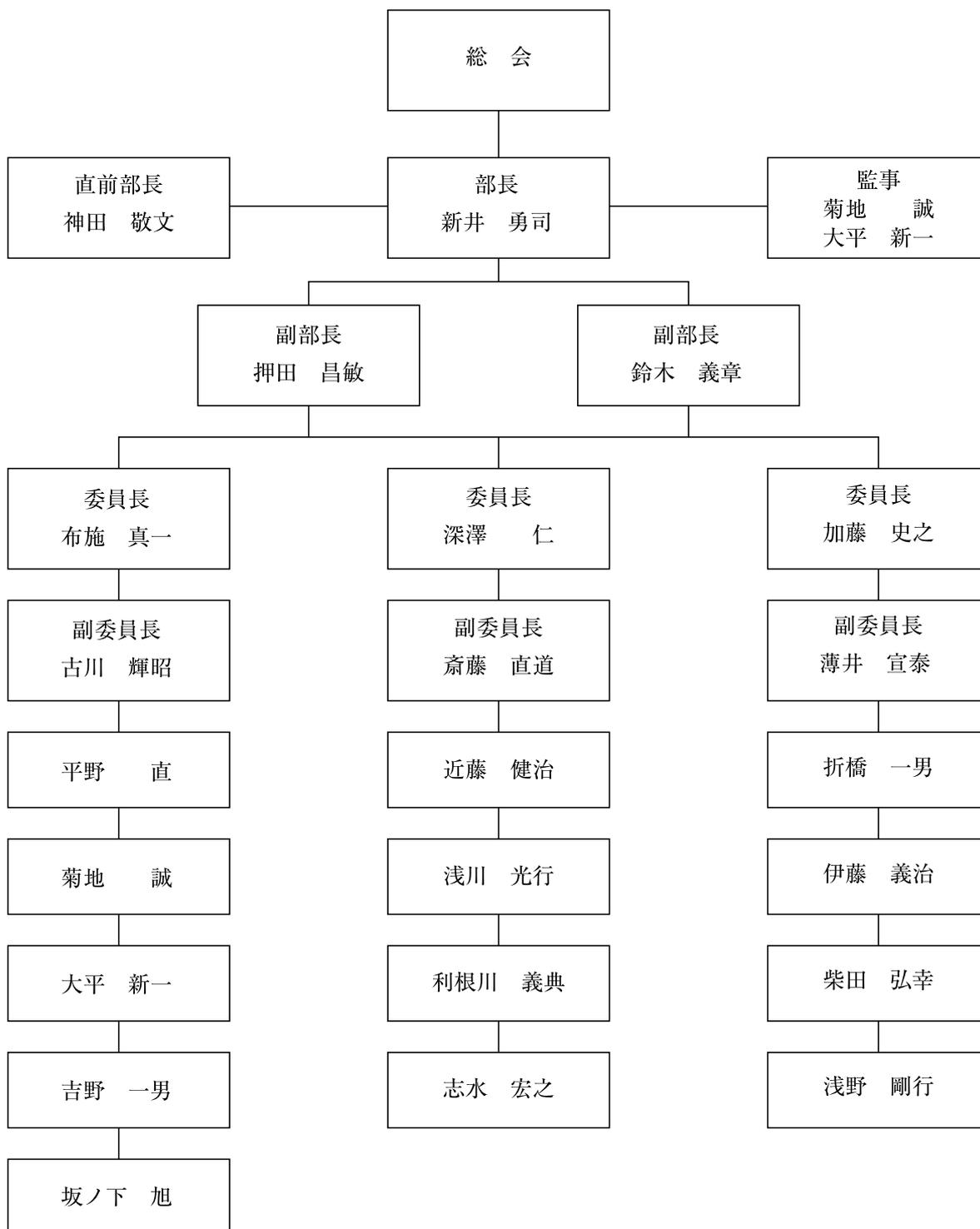
氏 名	事業所名 所在地	TEL・FAX 携 帯 HPアドレス E メール	事業所PR
 加藤 史之	加藤板金工業 331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町 1068-15	048-624-7271・048-624-7271 090-3088-1920 fu-bick@lapis.plala.or.jp	内外装トータルリフォーム。
 平野 直	平野工業(株) 339-0042 埼玉県岩槻市府内1-7-76	048-798-1406・048-798-1939 090-8851-1248 http://www.greenarrow.co.jp hirano@green.ocn.ne.jp	形式に囚われず柔軟な考え や心構えを持って勇往邁進 したい。
 近藤 健治	(株)近藤工業 339-0001 埼玉県岩槻市鹿室370-2	048-794-4768・048-794-5327 090-3339-2124 kenzi@mqc.biglobe.ne.jp	喜ばれ愛される総合リフォ ームを築きあげ、匠の技師 を目指しています。
 折橋 一男	(有)折橋板金 359-0021 埼玉県所沢市東所沢1-21-20	042-944-3954・042-944-3953 090-8086-4850 http://village.infoweb.ne.jp/~fwkg3630/ fwkg3630@mb.infoweb.ne.jp	屋根・外壁・雨樋工事、地 域1番店!毎月リフォーム相 談会実施中!
 菊地 誠	菊地板金 331-0804 埼玉県さいたま市北区土呂町 2-7-7	048-663-0368・048-663-0368 090-8879-1704 kun.k@mx6.ttcn.ne.jp	建築板金工事なら、何でも やります!
 大平 新一	(有)大平板金工業 331-0804 埼玉県さいたま市北区土呂町 2-69-8	048-665-2352・048-663-2582 090-1696-7522 sin200258@docomo.ne.jp	兄弟で仕事をしています。 弟は主に営業で私は現場で お客様に満足して頂ける仕 事を心掛けて!
 坂ノ下 旭	坂ノ下板金(有) 358-0026 埼玉県入間市小谷田216-1	042-964-3301・042-964-3302 090-3234-1077 info@sakanoshita.jp akira@sakanoshita.jp	仕事は順調です。仕事以外 でも、地域のため、まちな のためにがんばっています。
 浅川 光行	(株)浅川板金工業所 331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 1-176-1	048-667-7034・048-667-2479 090-3220-8900 icd39256@nifty.com	こんな不景気な時代、みな なで頑張って乗り切ろう!

氏 名	事業所名 所在地	TEL・FAX 携 帯 HPアドレス Eメール	事業所PR
 薄井 宣泰	薄井板金店 331-0062 埼玉県さいたま市西区土屋 436-11	048-623-9282・048-625-3175 090-3497-0205 usui.bankinten@docomo.ne.jp	早くて安い！ 何でもやります！
 古川 輝昭	(有)コガワ 331-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町 5	048-654-3780・048-654-3781 090-8851-4740 k-teru@mxw.mesh.ne.jp	本年、設立6年目になり、 今後はリフォーム工事にも 力を入れていきます。
 伊藤 義治	(有)伊藤建設工業 350-0451 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 64	049-295-9230・049-294-7806 090-3249-4546	リフォーム工事前から板金ま で、何でもやっています。
 利根川義典	利根川板金工業 350-0219 埼玉県坂戸市片柳1794	049-281-1023・049-281-1284 090-3144-1281	これからも、地域一番、信 用第一でやっていきます。
 吉野 一男	吉野板金 355-0221 埼玉県比企郡嵐山町菅谷610-2	0493-62-2611・0493-62-2611 090-3249-4634	私で2代目。地域密着型を 目指し、お客様に喜んで頂 ける仕事を心がけています。
 柴田 弘幸	(有)柴田板金工業 356-0028 埼玉県上福岡市西原1-3-7	049-261-4028・049-264-6337 090-3206-4760 hiro-yu@bc5.so-net.ne.jp	板金業のプロフェッショナル 会社として技術と信頼を目 標に日々がんばっています。
斎藤 直道	(有)サイトウ シー・アンド・シー 340-0217 埼玉県北葛飾郡鷺宮町鷺宮 2-9-8	0480-58-0041・0480-58-4180 090-3346-8812	
金子 忠央	344-0051 埼玉県春日部市内牧2291-3	048-752-3053・048-752-0055 休会中	

氏 名	事業所名 所在地	TEL・FAX 携 帯 HPアドレス Eメール	事業所PR
 志水 宏之	(有)信和板金工業 339-0036 埼玉県岩槻市横根1349-1	048-798-7006・048-798-6300 090-2226-6736 hiro.q--py.peace@docomo.ne.jp	屋根・外壁・雨樋・防水・ 金属加工、各種扱っています。 顧客満足が大前提です。
 浅野 剛行	(有)浅野工業 347-0011 埼玉県加須市北小浜585-1	0480-61-0838・0480-61-0806 090-7014-0545 tasano@sage.ocn.ne.jp	会社になって15年目に入り、 外壁、樋、防水、屋根 工事何でもできるようにが んばります。

平成14年度 埼玉県板金工業組合青年部組織図

相 談 役 野口 育男
 顧 問 戸井田 章
 会 計 監 事 近藤 健治
 会 計 折橋 一男
 I T 特別委員長 平野 直



20周年記念事業にご協賛いただいた会社

—— 埼玉県板金工業組合青年部 協賛企業一覧（順不同） ——

株式会社関東セキノ

積水化学工業株式会社

株式会社日建板

ニチハ株式会社

株式会社宝建材

東レグラサル株式会社

株式会社ダイム・ワカイ

元旦ビューティー工業株式会社

小池弥太郎商店

タニタハウジングウェア株式会社

片山鉄建株式会社

住友金属建材株式会社

松下電工株式会社

旭硝子株式会社

株式会社クボタ

宇部ボード株式会社

株式会社マドック

このたび20周年記念事業の一環として、記念誌のCD版のデータをホームページ作成に活用してまいります。今後も仕事のためになる仕組みを、このホームページを通じデータとして蓄積し活用していくことを目的としております。この事業に対しご協賛を頂いた上記各商社及びメーカー様には各社ホームページへリンクさせて頂き、必要な情報の収集に活用出来る様、啓蒙活動も含め運営を行っていきたいと思います。

編集後記

埼玉県板金工業組合青年部が昭和58年5月、約10名の皆様によって正式に発足してから、20周年を迎えることができました。その間、埼玉県中小企業団体青年中央会、各メーカー、板金業界上部団体、そして埼玉県板金工業組合（親組合）の皆様にはご指導、ご鞭撻を頂き、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

また、このたび20周年記念事業の一環として記念誌の発行にあたりましては、全日本板金工業組合連合会青年部部長 川田雅彦様、当県板歴代青年部長の皆様、その他の方々よりご祝辞を賜り、誠にありがとうございました。

この20周年記念誌は、10周年以降を1年ごとの活動記録にまとめ、それ以前の歩みは10周年記念誌のダイジェスト版として編集しました。また、様々な座談会を開催し、今までの歴史を見直し、今後の活動を見据えるために、意見交換をした内容を掲載しております。そして、この記念誌は、製本とCDの二つの形で編集してあります。記念事業の一環として、CDのデータは今後、ホームページ作成等、永久に活用し、仕事のためになる仕組みを、データとして蓄積し活用していくことを目的としております。この20年の重みを次の世代へと積み重ね、30年、40年と栄えていくことを望みます。

なお、協賛を頂きました各商社及びメーカー各社、そして活動写真等の資料提供に協力して頂いた青年部メンバーの皆様、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます、編集後記と致します。

(記念誌編集委員一同)

20周年記念誌

黎明

発行：平成15年4月1日

編集：埼玉県板金工業組合青年部

印刷：グローバルシステム株式会社